



## 子供たちの学力向上をめざして②～令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果から～

国語	全国より低い	算数	全国より低い
----	--------	----	--------

	平均正答率 (%)	
	本校	全国
国語	59	64.7
算数	63	70.2

### 〈 学力調査 〉

国語・算数ともに全国値よりも下回っていました。

国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」のすべてにおいて下回っており、特に「読むこと」に関して、全国の平均正答率より8ポイント近く全国値よりも下回っていました。

「読むこと」のなかで「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける」問題では全国より12ポイント低い状況でした。また「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、「修飾と被修飾との関係を捉える」の問題では全国と同レベルであったものの、「漢字を文の中で正しく使う(漢字に書き直す)」こと、「主語と述語の関係を捉える」ことが全国より9ポイント低い状況でした。

算数では、「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」のすべてにおいて下回っており、特に「数と計算」においては10ポイント近く全国値よりも下回っていました。

「数と計算」のなかで「二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる」「示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる」「小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる」の問題では全国より10~13ポイントも低い状況でした。児童が、記述や日常生活の場面に即して判断することが苦手であると考えられます。

「データの活用」のなかでも「棒グラフから、数量を読み取ることができる」「棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる」の問題は全国と同レベルでした。

また全体的にみて、県や全国よりも無解答率が高かったことが気になりました。

※本調査により測定できるのは、学力の一側面であることをご承知おきください。

## ■学校の取組

### ○「基本の学習（国語）（算数）」の設定

基礎学力の定着を目的に、毎週金曜日の朝の活動時間（8:25～8:40）に取り組んでいます。全校で継続して取り組んでいるので、子供たちも時間になったらすぐに問題を解き始めています。

国語：漢字やことわざなど語彙力を高める問題、コバトン問題集、復習プリントなど

算数：計算問題や文章問題、コバトン問題集、復習プリントなど

### ○算数の少人数指導できめ細かい指導を行っています

算数の授業では、学年や学級を3つや2つのグループに分けて少人数にして指導を行い、児童一人一人に対してきめの細かい指導を可能にした少人数指導を実施しています。

### ○読書タイムを設定しています

毎週月曜日と水曜日の朝に「読書タイム」を設定しています。1～3年生までは図書ボランティアによる本の読み聞かせ（現在、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止）、4～6年生までは図書館や家庭にある本を各教室で読書しています。語彙を増やし、読解力を高めるには読書量を増やすことが最適です。全国や県の学力調査の問題は普段学校で行っているワークテストとは形式が異なり、問題文を素早く的確に読み取っていかなければ最後の問題まで到達できません。このことは無解答率の高さに相對していると思われま。今後読書タイムの充実をさらに図っていきたいと考えています。

## 〈 質問紙調査 〉

質問事項	選 択 肢				持っているが約束はない	もっていない	
	きちんと守っている	だいたい守っている	あまり守っていない	守っていない			
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束をしたことを守っていますか	35.3	32.9	2.4	2.4	12.9	14.1	本校 (%)
	38.0	32.1	4.7	0.9	11.8	12.4	全国 (%)

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学	3時間以上	2時間以上	1時間以上	30分以上	30分より少ない	全くしない	本校 (%)
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学	8.2	16.5	35.3	27.1	9.4	
	11.6	15.3	35.6	24.5	9.5	3.5	全国 (%)

ぶ時間も含む)							
学校の授業時間以外に、普段（月曜日 から金曜日）、1日当たりどれくらい の時間、読書をしますか（教科書や参 考書、漫画や雑誌は除く）	8.2	10.6	21.2	22.4	11.8	25.9	本校 (%)
	7.4	10.8	19.2	23.8	14.7	24.0	全国 (%)

	ほぼ毎日読む	週1～3回	月1～3回	読まない	
新聞を読んでいますか	1.2	11.8	14.1	72.9	本校 (%)
	5.1	9.7	14.7	70.4	全国 (%)

※家に帰ってからの勉強時間は「1時間以上」の児童が多く、本校「家庭学習のてびき」に明記されている「6年生は60分以上の学習」の意識をもって家庭学習に取り組んでいることが分かります。

※家に帰ってからの読書時間は「30分以上」の児童が多い結果となっております。しかし全く読書をしていない児童も2割ほどいる現状がみられます。「新聞を読んでいますか」においても7割の児童が「ほとんど読まない」「読まない」と答えています。読書をしたり、新聞を読んだりして文章に多く触れている児童ほど正答率は高くなっています。ただ単に「読みなさい」というのではなく、読みたくなる環境を整えていくことも大切です。

	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえ ば、あては まらない	当てはまらない	
自分には、よいところがある と思いますか	40.0	40.0	14.1	5.9	本校 (%)
	36.2	40.7	15.5	7.5	全国 (%)

※自己肯定感において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の児童は本校6年生の8割いることが分かります。自分自身のよさを認め、そして相手からも認められていると感じている児童は正答率が高い傾向にあるといわれています。「子供たちを育てていくのは家庭・学校・地域である」ということを意識して、大人たちが一人一人の子供たちの良さを引き出していきましょう。

	当ては まる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかとい えば、あては まらない	当てはまら ない	話し合活動 を行って いない	
学級の友達との間で話し合う活動 を通じて、自分の考えを深めたり、 広げたりすることができていますか	43.5	36.5	16.5	2.4	1.2	本校 (%)
	33.0	45.8	16.9	3.6	0.7	全国 (%)

※「自分の考えを正しく発信する力」「自分の考えとは異なる発言をしていることを理解しようとする力」、この2つの力をつけることが「主体的・対話的で深い学び」につながると考えられます。子供たちを取り巻く情報の環境は日々多様化しています。SNSで情報の発信、受信が当たり前になっている昨今、今一度「言葉の大切さ」を考え、子供たちに「生きる力」が身に付いていくよう、支援してまいります。

	そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わな い	
いじめは、どんな理由があっても	85.9	11.8	1.2	1.2	本校 (%)
いけないことだと思いますか	84.1	12.7	2.2	0.9	全国 (%)

※「いじめをしてはぜったいにいけない」という意識が子供たちに身に付いています。ふざけやからかいなどもいじめにつながることもふくめ、相手を思いやる気持ちをさらに育てていくことが大切です。